

6月は環境月間です

問合せ 環境政策課 生活環境係・脱炭素社会推進室(☎23-2144)
リサイクル推進係(☎23-2145)

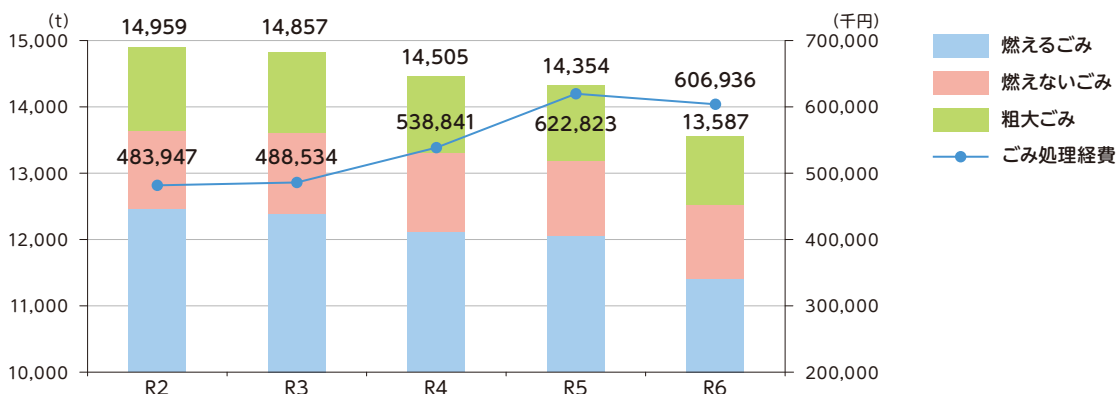
毎年6月5日は、国連が定める『世界環境デー』です。日本ではこの日を『環境の日』と定め、6月を『環境月間』として、全国各地でさまざまな普及啓発活動が行われています。この機会に、身近な環境について考えてみませんか。

市のごみの量

令和6年度の市内のごみ総排出量は、年間**13,587**トンで、令和2年度と比べると**1,372**トン減少しました。一方、ごみの処理にかかった経費は、6億693万6千円で令和2年と比べると処理施設に係る経費等の増加により、1億2,298万9千円増えています(グラフ1)。

また、市民1人1日あたりの排出量は、719グラムと減少していますが、市全体のリサイクル率は低下していて、リサイクル率の向上が課題となっています(グラフ2)。

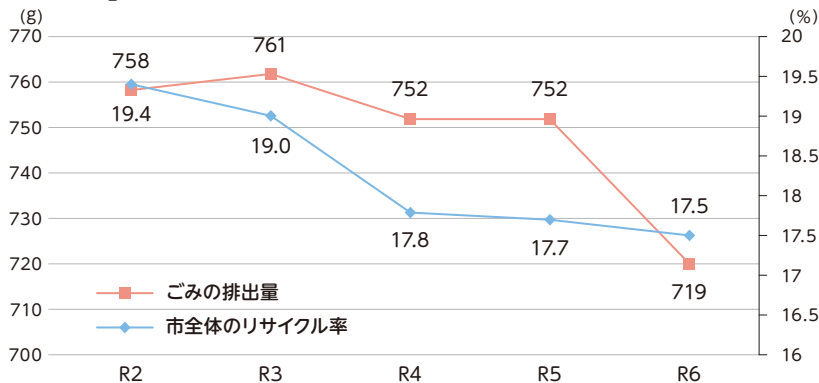
【グラフ1】ごみの総排出量と処理に要した経費の推移



※総排出量は、さが西部クリーンセンター及び市環境センターで処理した量です。

★1 ごみ処理経費は、ごみ袋作成費、ごみ袋販売手数料、収集運搬委託料、環境センター管理運営費、西部広域環境組合管理運営負担金の合計額です。

【グラフ2】市民1人1日あたりのごみの排出量と市全体のリサイクル率の推移



★2 市民1人1日あたりの排出量は、ごみの年間総排出量を毎年9月末現在の人口と年間日数で割った数値



ごみを減らすためには

私たちの暮らしから出るごみを減らすためには『3R(リデュース・リユース・リサイクル)』の実践が欠かせません。まずは、買いすぎを控え、使い切ることでごみそのものを出さないこと(リデュース)。次に、まだ使えるものは捨てずに譲ったり、修理したりして繰り返し使うこと(リユース)。そして、正しく分別し資源として活かすこと(リサイクル)が重要です。

皆さんもこれから紹介する3Rに取り組みましょう！

リデュース ◆ 生ごみを出すときは水切りしましょう

家庭から出るごみは、燃えるごみが多くの量を占め、生ごみはその3割と言われています。生ごみには、多くの水分が含まれており、そのままごみとして出すと、重量がかさみ、また焼却においても効率が悪く、処理費用が増えるだけでなく環境に与える影響も大きくなります。

生ごみを出すときは、水切りをしてごみの減量に努めましょう。簡単にできる水切り方法を動画で紹介しています。

こちらから



市は、生ごみに含まれる水分等を減らし軽量化することができる電動式生ごみ処理機や、生ごみを堆肥化することができるコンポストの購入費の一部補助を行っています。受付は予算に達し次第、終了します。

申請方法や補助額等は
こちらから



リユース ◆ ごみとして出す前に、リユースできないか検討しましょう

市は、株式会社マーケットエンタープライズと連携し、リユースプラットフォーム『おいくら』を通じたリユース(再利用)を推進しています。

『おいくら』では、買取店に一括見積もり依頼ができ、大型品も出張引取の対象となり、土日祝や最短当日の引渡しも可能です。『おいくら』の加盟店が対応するため、個人同士での取引がなく不要品を売却できます。

『おいくら』の
利用方法は
こちら



◆ 使わなくなった古着は回収ボックスへ！

着なくなった服や、使わなくなったタオルなどを燃えるごみに出していませんか。

市は、古着などの回収を行っている市内事業者のオレンジトレードジャパンの協力を得て、市民図書館や各コミュニティセンターなどに回収ボックスを設置しています。

回収場所や
回収できる
ものについて
はこちら



リサイクル ◆ 家庭から出る廃食油はリサイクルしましょう

市は、九州フードリサイクル事業協同組合と協力し、家庭から出た廃食油の回収及びリサイクルを推進しています。

回収された廃食油は中間処理がなされた後、アスファルトを製造する際の燃料として使用されます。燃料を重油から廃食油に代替することで二酸化炭素排出量の削減につながります。

廃食油の
出し方など
はこちら



●回収場所
マックスバリュ 伊万里駅前店

●回収時間
午前9時から午後8時まで

◆ リサイクルサンデーを活用しましょう

市は、地区ごとに毎月1回決められた日曜日に、家庭から出た資源ごみを分別回収するリサイクルサンデーを推進しています。実施日時や回収場所は、地区の役員に確認してください。

●リサイクルサンデーの回収品目

- 紙類 ①新聞紙(新聞、折り込みチラシ)
- ②ダンボール
- ③雑誌類(週刊誌、カタログ、菓子折箱)

- 缶類 ④アルミ缶
- ⑤スチール缶
- 瓶類 ⑥茶色の一升瓶
- ⑦ビール瓶

◆ ペットボトルキャップでワクチンを！

市は、株式会社新興とNPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会の協力を得て、市民図書館や各コミュニティセンターなどでペットボトルキャップの回収を行っています。回収されたペットボトルキャップは、中間処理後に、リサイクル資源として売却され、その売却益がワクチンに代わります。



脱炭素につながるライフスタイルへの転換を

脱炭素社会の実現に向けて 私たちができること



脱炭素社会の実現に向けて、日々の暮らしの中でできる取り組みがたくさんあります。まずは、身近にできることから始めてみましょう。

ここでは、具体的な取り組み内容や、取り組むことで期待される年間の二酸化炭素削減量、電気料金の節約額などを紹介します。詳しくは、各項目に掲載している2次元コードから確認してください。



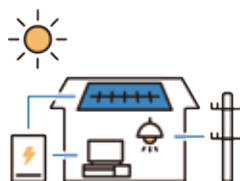
デコ活とは『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動』の愛称です。二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。暮らしが豊かになり、脱炭素などに貢献する『デコ活アクション』に取り組みましょう。



太陽光パネルの設置

検討
しよう

エネルギー源が半永久的で、クリーンな太陽光で発電することで、CO₂の排出を減らし、また、電気代を抑えることができます。



詳細は
こちら



地球にやさしい

CO₂削減量(年間)

《太陽光発電》
920kg

※年間目安

家計にやさしい

節約額(年間)

《太陽光発電》
53,179円

※年間目安

LED照明に交換

やっ
て
み
よ
う

電球形LEDランプは、一般電球に比べて、消費電力が約85%低く、寿命も約40倍とされています。家計にお得であることはもちろん、電球交換の手間も省けます。



詳細は
こちら

地球にやさしい

CO₂削減量(年間)

《電球形LEDランプ》
40kg

《LEDシーリングライト》
29kg

※年間目安

家計にやさしい

節約額(年間)

《電球形LEDランプ》
2,883円

《LEDシーリングライト》
2,108円

※年間目安

省エネ家電に 買い換え

検討
しよう

統一省エネラベルは、省エネ性能と年間目安エネルギー料金が一目でわかり、また、省エネ性能を「星」の数で示しています。星の数が大きいほど、電気代がお得になります。対象製品は、電気冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコンなどの9品目です。ラベルは小売店の店頭やカタログなどに表示されています。



地球にやさしい

CO₂削減量(年間)

《エアコン》 《冷蔵庫》
70kg 108kg

※年間目安

家計にやさしい

節約額(年間)

《エアコン》 《冷蔵庫》
7,338円 11,413円

※年間目安

詳細は
こちら



市の環境状況

市内の環境状況を把握するために、定期的に騒音や水質について調査を行っています。令和7年度の測定結果について紹介します。

- ◆ **自動車騒音** 市内の自動車騒音の状況を把握するため、令和7年度は市内2地点で測定をしました。測定の結果、環境基準値を下回り、良好な状態でした。

測定地点	観測時間帯	測定日時	等価騒音レベル (Leq(dB))	環境基準 (dB)
松島町 (木須東松島線)	昼間	R8.1.14~ R8.1.15	62	70
	夜間		53	65
立花町 (県道伊万里山内線)	昼間	R8.1.14~ R8.1.15	64	70
	夜間		56	65

時間帯…【昼間】6:00~22:00 【夜間】22:00~6:00

- ◆ **水質**

河川水 市内3地点で、河川の汚濁の程度を示すBOD(生物化学的酸素要求量)(※注1)を測定しました。そのうち、環境基準が設定されているのは1地点で、令和7年度の測定結果は、環境基準を下回りました。また、過去3年間の測定値の推移を見ても、すべて環境基準を下回る結果となっており、市内の河川環境は良好な状態を維持しています。

《河川水BOD》

河川名	測定地点	測定値			環境基準 (単位:mg/ℓ)
		R5	R6	R7	
有田川	大井手井堰(二里町)	1.1	0.8	1.9	2.0以下

(※注1) BOD(生物化学的酸素要求量)

環境基準の指標として河川の水域で採用されており、有機汚濁物質を微生物によって分解するときに必要な酸素量。BODが高くなると、水質が悪化し、魚類等が生息できなくなります。

海水 伊万里湾内の3地点で、海水の汚染の程度を示すCOD(化学的酸素要求量)(※注2)を測定しました。令和7年度の測定結果は、七ツ島工業団地北側で環境基準を上回りました。直ちに環境被害が発生するような数値ではありません。超過原因の1つとして、天候や潮汐等による影響も考えられます。

《海水COD》

測定地点	測定値			環境基準 (単位:mg/ℓ)
	H27	R2	R7	
七ツ島工業団地北側(黒川町)	2.2	2.0	2.2	2.0以下
七ツ島工業団地南側(黒川町)	3.8	2.6	2.6	3.0以下
黒塩前(黒川町)	—	—	2.1	3.0以下

(※注2) COD(化学的酸素要求量)

環境基準の指標として湖沼及び海域で採用されており、有機汚濁物質を酸化剤で分解するときに必要な酸素量。CODが高くなると、水質が悪化し、魚類等が生息できなくなります。測定地点によって環境基準が異なっているのは、環境基本法に基づく水域類型の指定があるためです。

環境基準/環境基本法で定められた、達成することが望ましい基準で、基準値を僅かに超過しても直ちに健康被害が生じるような数値ではありません。

